

# まちづくり人財塾 第3回講座 開催のご報告

## テーマ「地域での話し合いの手法を学ぼう③」 ～ファシリテーションを練習しよう～

開催日程：令和4年11月5日(土) 13時～16時

前回に引き続き、佐藤淳氏を講師にお招きし、今回は人財塾参加者である越後さん（商工会青年部長）、五十嵐さん（サンノヘール）をメインファシリテーターとしてファシリテーションの実践を行いました。

※ファシリテーション…身近な会議や集会の場をもっと楽しく有意義にするための話し合いの手法のこと。

当日は、町内会、商工会青年部、役場職員など多様な立場の方18名にご参加いただきました。

### ●前回のおさらい

- ・話し合いの流れ
- ・チェックイン

※詳細は前回の開催報告をご覧ください。



ファシリテーターの越後さんと五十嵐さん

### ●人財塾参加者が主導したワールドカフェ

今回は、人財塾に参加している越後さんと五十嵐さんのお二人がファシリテーターとして、まちづくり人財塾第1回講座で実施した「ワールドカフェ」を実践しました。

ワールドカフェでは、テーマに沿った話し合いをグループごとに3回行いました。このテーマ（問い）を考えることもファシリテーターの役目です。今回はこのテーマづくりからお二人には実践していただきました。

<ワールドカフェのテーマ>人口以上の観光客を呼べる三戸町

<テーマ1>

三戸町外の方々へ「推せる!」と思うこと、  
「推せない…」と思うことは何ですか？

↓ 席替え

推せる:三戸城跡、11ぴきのねこ、りんご、南部せんべい、桜、四季のまつり  
推せない:シャッター街、人口減少、仕事が無い、宿が無い、温泉が無い

## <テーマ 2>

「推せる!」を伸ばせるアイデア、  
「推せない…」を「推せる!」に変える  
アイデアを考えてみてください。



## <テーマ 3>

人口以上の観光客を呼べる三戸町を  
実現するために、皆で一緒にやりたいこと  
は何ですか?具体的に考えて下さい。

## <個人ワーク>

人口以上の観光客を呼べる三戸町を  
実現するために、貴方がやりたいこと  
は何ですか?具体的に考えてください。

シャッターアート、11ぴきのねこファン  
ミーティング×ワールドカフェ、  
コインロッカー設置、空き家→宿へ、  
廃校でキャンプ

フルーツの規格外を商品化、  
宿運営者を募集、  
11ぴきのねこ×フォトログ、  
こま温泉を宿泊施設に

11ぴきのねこファンミーティングでねこ  
のまちづくりについて一緒に考える。  
三戸城跡で大食い大会。  
アップルパイ試作。  
11ぴきのねこのサッカーチーム結成。

## ●話し合いの場の「環境づくり」

話し合いをするためには、参加する人がいることが大前提です。参加する人を増やすためにはまず、人が集まりたくなる環境を整えることが大切です。

どういう場所に人が集まりたくなるのか?  
・明るい・楽しい・得になる・徳がある

## ●まちづくり人財塾で実践している「環境づくり」

明るく、楽しい雰囲気を出すために、人財塾のテーブルには赤いチェックのテーブルクロスをかけています。

そして、始まるまでの間や休憩時間には BGM としてカフェ音楽やボサノバをかけて、参加する方が楽しく話し合いできる環境を整えています。



## ●話し合いの中心となる「テーマオーナー」

話し合いや対話の場というのは、「このテーマについて皆で話し合いたい」というテーマオーナーの想いから始まります。今回は、商工会青年部である越後さんの「イベントで三戸町を盛り上げていきたい」という想いから始まっているので、今回のテーマオーナーは越後さんでした。

## ●ファシリテーターに必要な3つのデザイン力

### ①参加形態のデザイン

どのような人に参加してもらいたいのか、参加者の所属や立場も考える。

ポイントは、「混ぜる」こと。同じ所属の人だけが集まったり、同じ考えの人だけが集まっても、新しいアイデアはなかなか生まれないので、普段接点の無いような人同士が話し合える場となるように。

### ②プログラムのデザイン

話し合いの具体的な進め方や運営方法を考える。

ポイントは、「問い」の投げかけ方。「課題は何?」「解決策は何?」ではなく、なぜそれが課題なのか、理想の状態はどういう状態なのかなど、前向きに自分事として考えられる「問い」を作ることが大切。

### ③プロセスのデザイン

達成したい目標のために、今回の話し合いだけではなく、達成するまでの流れも考える。

今回出たアイデアを、実施するために何をしたら良いか?など、一連の流れとして考えることが必要。

#### 参加者からの質問

話し合いを継続するには町がその機会を作らなければいけないのでは?



#### 先生からの回答

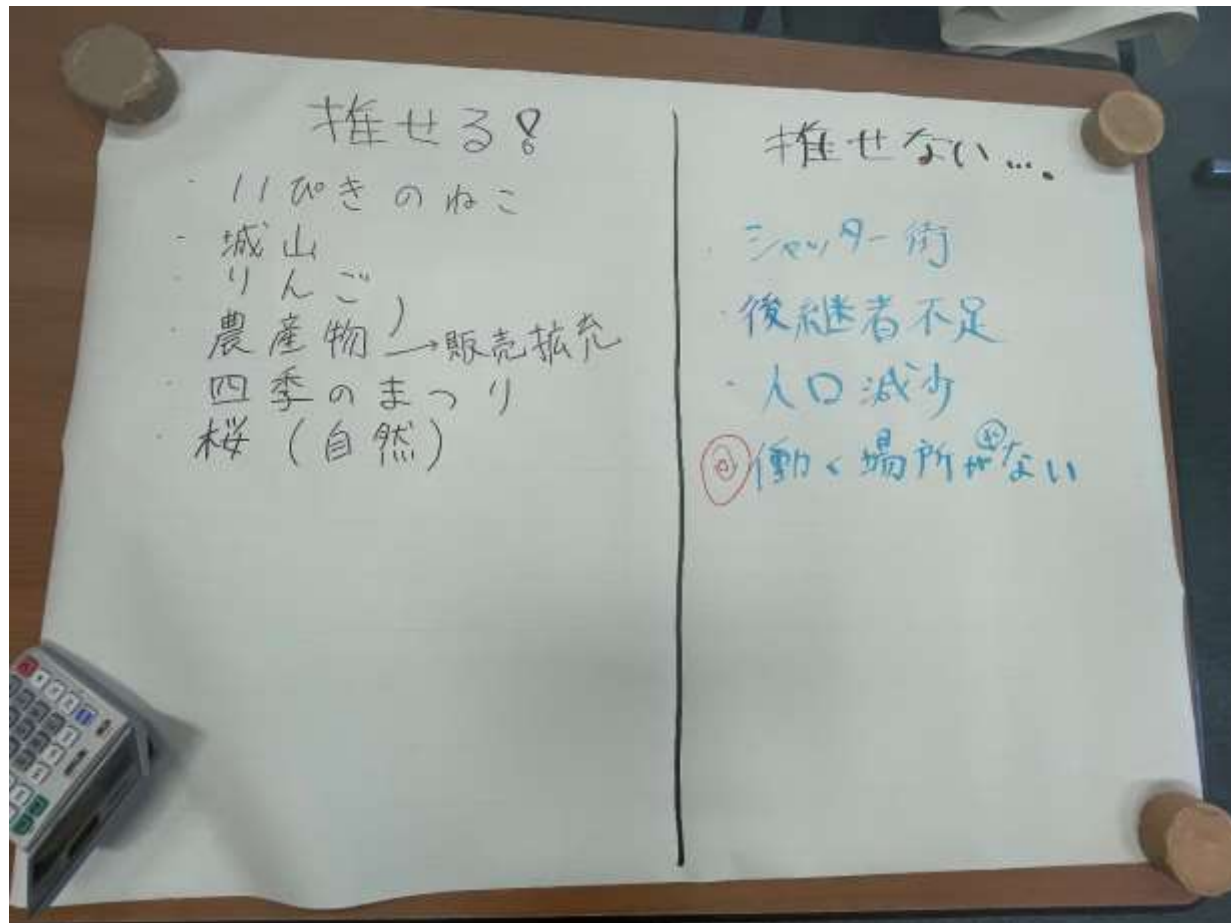
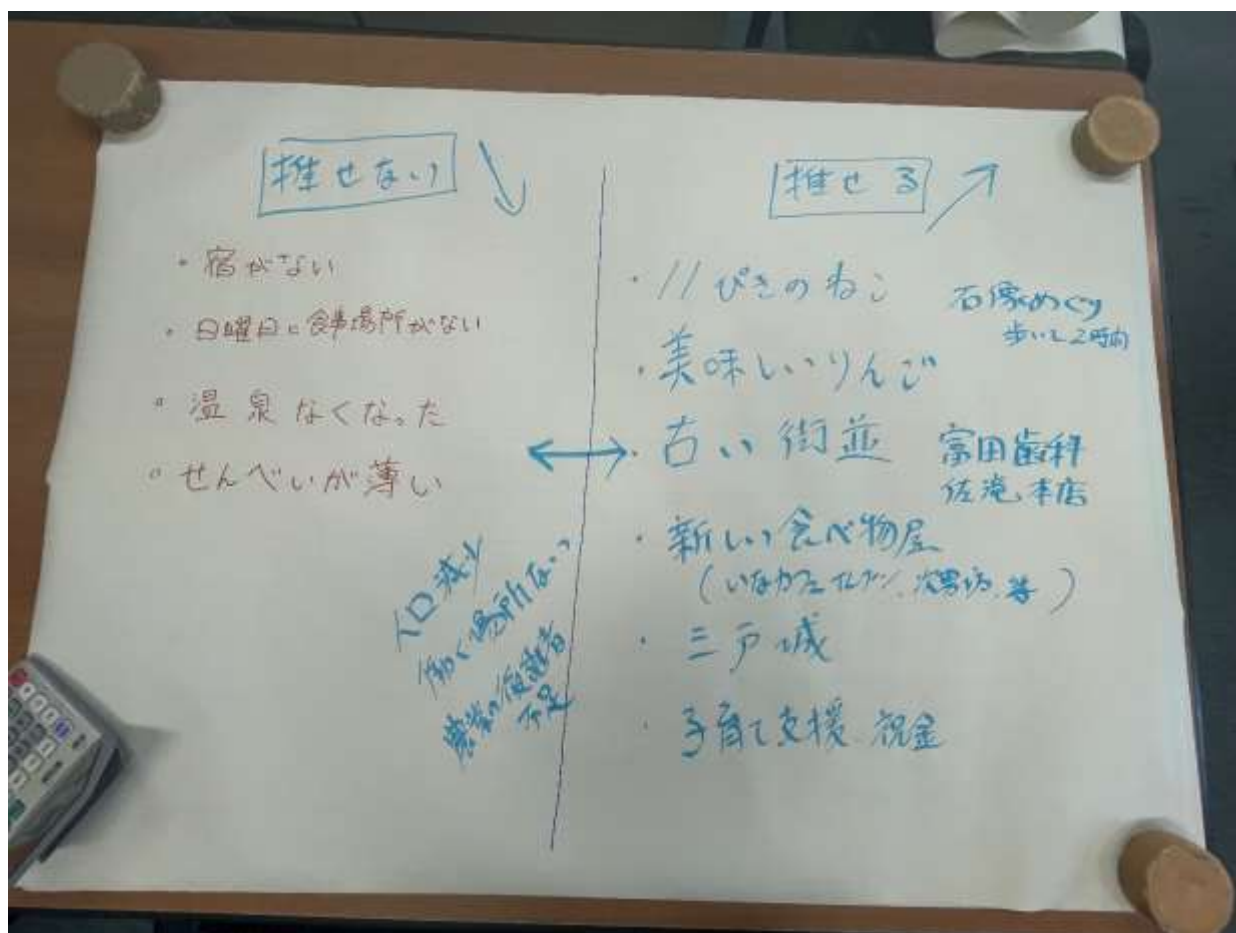
先進的な取組を行っている静岡県牧之原市では、地域住民が自主的に集まり、話し合いを繰り返し活動している。地域全体が自分事として考えて行くことが大事。

#### 参加者からの感想

- ・町民ファシリテーターがもっと増えると良いな。
- ・いろいろな人の意見や想いを聞けて良かった。
- ・ファシリテーターの進め方など参考になった。
- ・人財塾の中で楽しく話を出来ている。
- ・ファシリテーションをする上で、人前で話すことになれるのは大事だと思った。



【抜粋】テーマ1 三戸町外の方々へ「推せる!」「推せない…」と思うことは何ですか？



【抜粋】

テーマ2「推せる!」を伸ばす、「推せない…」を「推せる!」に変えるアイデア

テーマ3 人口以上の観光客を呼べる三戸町のために、皆で一緒にやりたいことは?

